

第3 1回漢方教室（漢方）

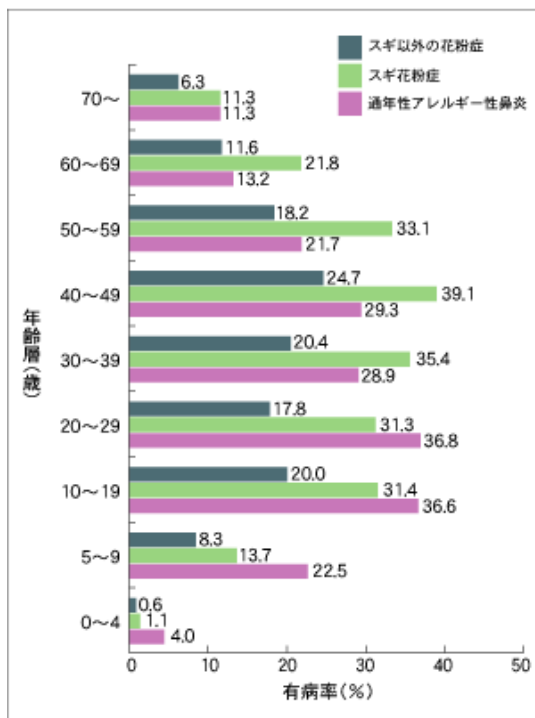
もう鼻炎には悩まない！—漢方で花粉症も蓄膿症もスッキリ—

I. アレルギー性鼻炎

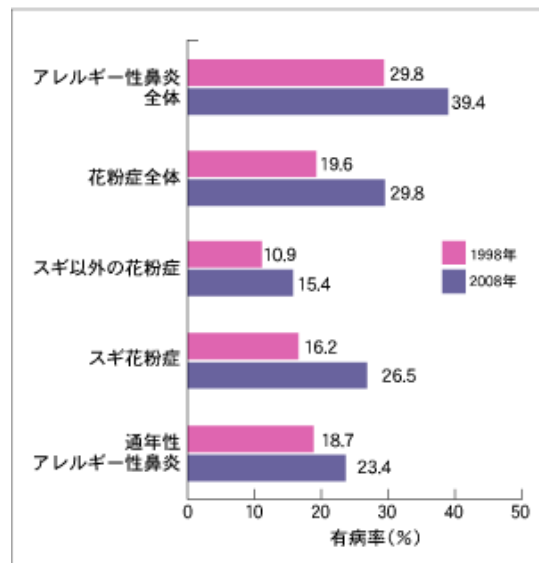
1 有病率

1) アレルギー性鼻炎（花粉症も含む）の有病率

■ 年齢層別有病率 ■



■ 1998年と2008年の有病率 ■



http://www.polishwork.com/health_lecture/vol_61.shtml

- ・若年層は通年性アレルギーの有病率が高いが、30代以上では花粉症の有病率が上回る
- ・最近10年でスギ花粉症が約10%増加し、通年性アレルギー性鼻炎の有病率を上回った

2) 他のアレルギー疾患の有病率

気管支喘息：幼児：4.5%、小児：4%、成人：1.7~3%

(40~50年前には全人口の1%前後であるといわれていた)

アトピー性皮膚炎：乳児：15%、幼児：10%、小児：5%、成人：3%

→ 過去10年間に20~50%の率でアレルギー疾患が増加している

3) アレルギー体質は遺伝する

両親がともにアレルギー：子供の約50%がアレルギー

どちらか一方の親にアレルギー：子供の約30%がアレルギー

どちらにもアレルギーがない：子供の約10%がアレルギー

2 花粉症とは

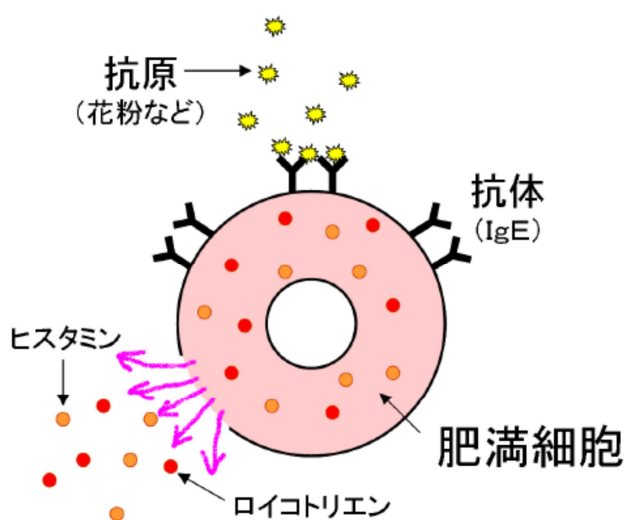
1) 花粉症の三大症状

- ・くしゃみ
- ・鼻水
- ・鼻づまり

2) 検査

- (1) 鼻汁好酸球検査：アレルギー性鼻炎かどうかを調べる検査
- (2) 血液検査 (RAST)：原因物質を調べるための検査
- (3) 皮内テスト：原因物質を調べるための検査

3) 花粉症の起こるメカニズム



I型アレルギー

抗原が鼻腔内に進入

- 肥満細胞上のIgE抗体と反応
- 肥満細胞の活性化
- 化学伝達物質が遊離
(ヒスタミン・ロイコトリエン)

○ヒスタミン

神経を刺激 → くしゃみ、鼻水

○ロイコトリエン

血管を刺激 → 鼻づまり

4) 血管運動性鼻炎・アレルギー性鼻炎・花粉症

(1) 血管運動性鼻炎

温度差アレルギー

下肢寒冷刺激で鼻汁分泌亢進、鼻粘膜拡張

(冷たい空気にくしゃみや鼻水が出るものなど)

検査では鼻汁好酸球検査陰性、皮内テスト陰性、誘発テスト陰性

(2) アレルギー性鼻炎

原因としてアレルゲンがあるもの

①通年性アレルギー：ダニ、ハウスダスト、カビなど

②季節性アレルギー：花粉、蛾など

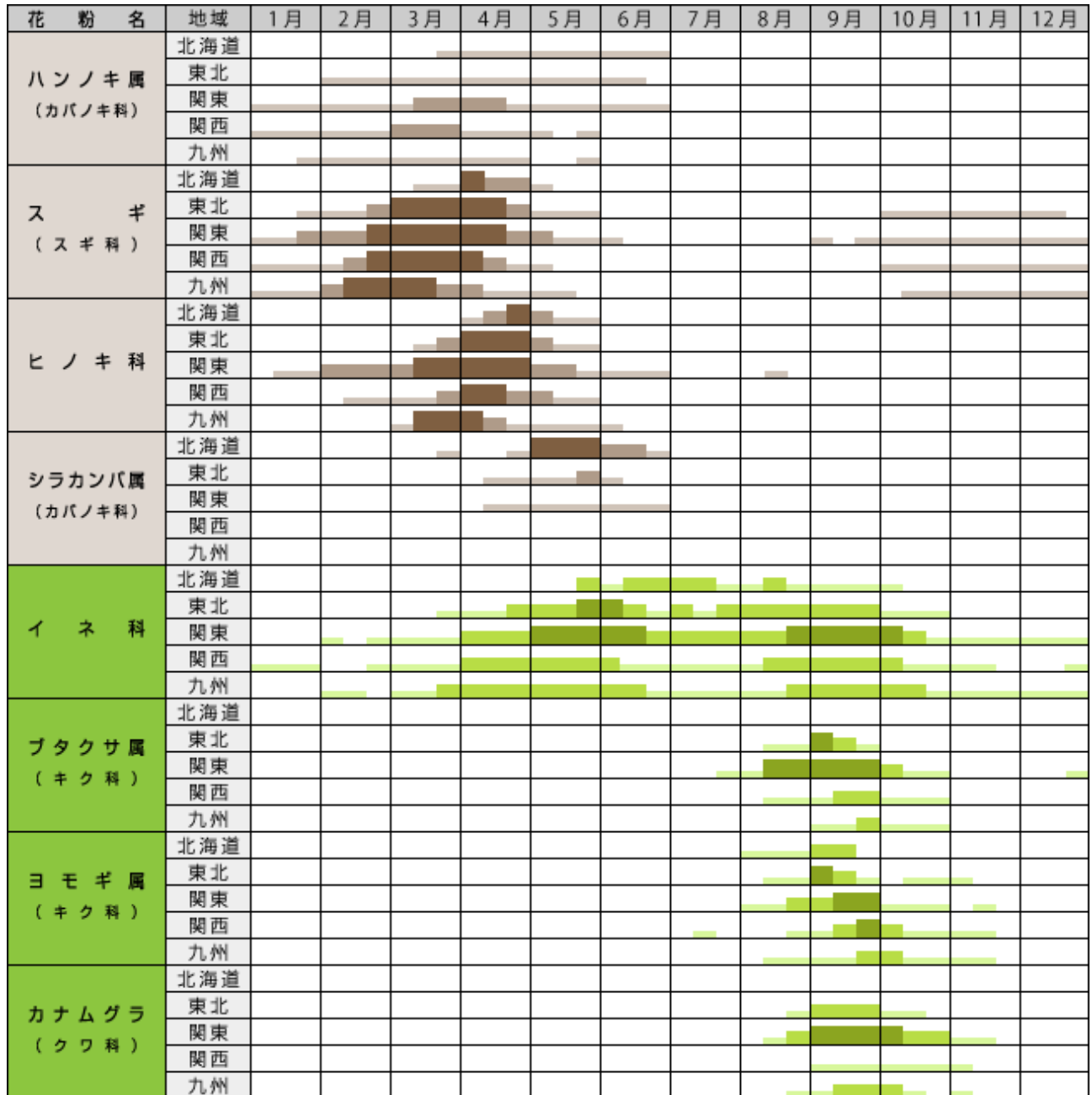
③その他：犬、猫、鳥、ハムスターなどペットの毛や羽など

(3) 花粉症

アレルギー性鼻炎の中でアレルゲンが花粉であるもの (季節性アレルギー)

5) 季節と花粉 (アレルゲン)

資料提供：鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会



木本の花粉 凡例

- 0.1 ~ 5.0 個/cm² / 10日
- 5.1 ~ 50.0 個/cm² / 10日
- 50.1 ~ 個/cm² / 10日

木本の花粉 凡例

- 0.05 ~ 1.0 個/cm² / 10日
- 1.1 ~ 5.0 個/cm² / 10日
- 5.1 ~ 個/cm² / 10日

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201102/2.html>

3 花粉症の現代医学的治療

1) 原因物質（アレルゲン）の除去

- ・花粉に近づかない

花粉飛散時には外出を控える、外出時の花粉用マスクやメガネの着用など

- ・花粉を除去する

衣類に付着した花粉の除去、屋内の掃除、室内の空気清浄など

2) 薬物療法

- ・抗アレルギー薬

抗ヒスタミン薬 → くしゃみ、鼻水

抗ロイコトリエン薬 → 鼻閉

- ・ステロイド薬

3) 減感作療法

4) 手術療法

5) レーザー治療

II. 蓄膿症（慢性副鼻腔炎）

1 副鼻腔炎の分類と原因

急性：カゼによる急性鼻炎に引き続いて発症する

ウイルスや細菌が原因となる

多くは片側だけに生じる

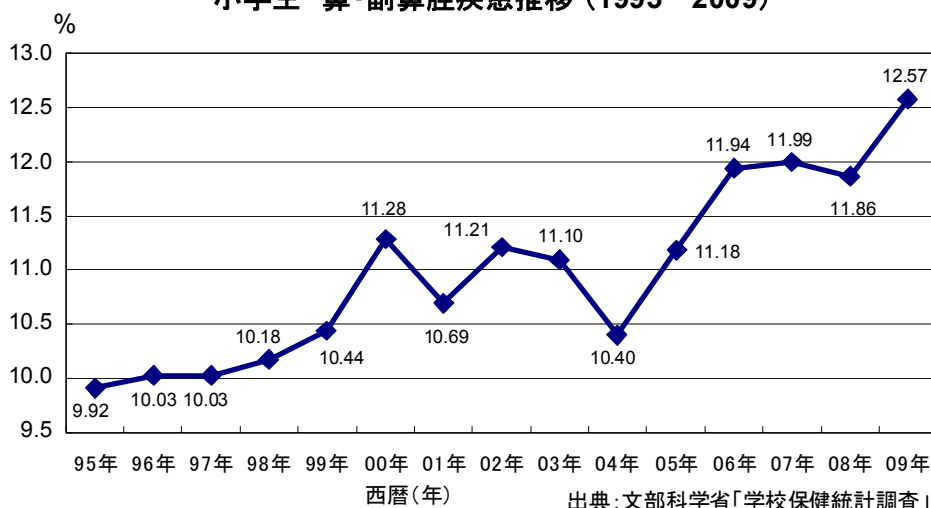
慢性：鼻の構造に問題があることが多い（鼻中隔彎曲など副鼻腔炎が治りにくい構造）

体質や栄養状態の低下が関与することがある

ウイルスや細菌だけではなく、アレルギーや虫歯も原因となる

2 有病率

小学生 鼻・副鼻腔疾患推移（1995—2009）



3 蓄膿症の症状

- ・鼻づまり
- ・膿性鼻汁（黄色で粘稠な鼻汁）
- ・後鼻漏
- ・頭重感や頭痛
- ・嗅覚異常（臭いがわからない）

4 蓄膿症の現代医学的治療

1) 薬物療法

- ・抗生物質：病原細菌の増殖を抑える（マクロライド系抗生物質など）
- ・消炎酵素薬：炎症を抑える
- ・粘液溶解薬：分泌物を排泄しやすくする

2) 局所療法

- ・鼻腔内洗浄など

3) 内視鏡手術

- ・副鼻腔と鼻腔の通路を広げ、空気や分泌物が通過しやすくする
鼻茸（鼻腔内ポリープ）除去術など

Ⅲ. 漢方からみた鼻炎のとらえ方

1 寒熱の考え方

	寒 証	熱 証
全身	自覚的に冷感あり 冷え性 悪寒 寒冷で誘発される諸症状 (頭痛、下痢など) 多量の薄くて水っぽい液体 (水様性喀痰、薄い尿など)	自覚的に熱感あり 口渇(冷たい水を欲する) ほてる感じ のぼせ 少量だが濃くて粘稠な液体 (膿性喀痰、濃い尿など)
局所	局所の冷感(手足など) 温めると具合がよい 冷やすと症状が悪化する	局所の熱感、発熱、充血 冷やすと具合がよい 温めると症状が悪化する

2 花粉症と蓄膿症にみる局所の寒熱

1) 寒証型

水様透明な鼻汁／鼻粘膜の色調は蒼白／鼻粘膜の浮腫による鼻閉

典型的疾患：花粉症（アレルギー性鼻炎）

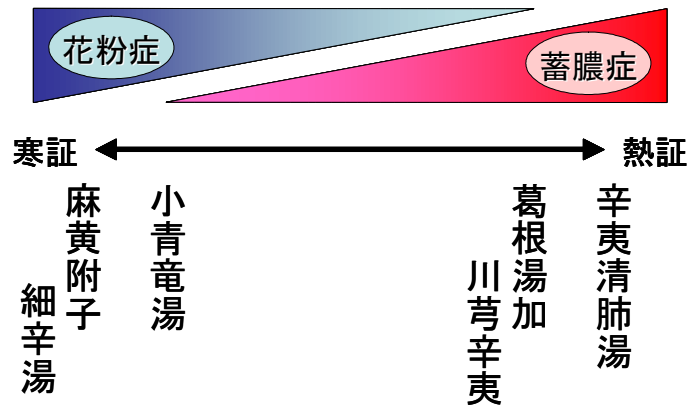
代表的処方：小青竜湯[19]（しょうせいりゅうとう）

2) 熱証型

粘稠性・膿性の鼻汁／局所の熱感や疼痛（炎症）／鼻粘膜の色調は赤味を帯びる／
鼻粘膜のうっ血による鼻閉

典型的疾患：蓄膿症（慢性副鼻腔炎）

代表的処方：葛根湯加川芎辛夷[2]（かっこんとうかせんきゅうしんい）



IV. 漢方治療の実際

1 対症療法

1) 寒証型

① 小青竜湯[19]（しょうせiryūとう）

花粉症の第一選択薬（くしゃみ／水様性鼻汁／鼻づまり）／胃腸が丈夫
鼻水が甚だしい場合、附子を加える、あるいは麻黄附子細辛湯を合方する
白湯に溶いて服用した方が効果的！

② 麻黄附子細辛湯[127]（まおうぶしさいしんとう）

顔色が悪い／からだが冷える／寒がり

③ 苓甘姜味辛夏仁湯[119]（りょうかんきょうみしんげにんとう）

胃腸が弱い／小青竜湯で胃の具合が悪くなる／顔色が蒼白くてむくむ

④ 苓桂朮甘湯[39]（りょうけいじゆつかんとう）

眼症状（目のかゆみ／なみだ目）／めまい

2) 熱証型

① 葛根湯加川芎辛夷[2]（かっこんとうかせんきゅうしんい）

蓄膿症の第一選択薬（鼻づまり／膿性鼻汁／頭痛・頭重）／胃腸が丈夫

② 葛根湯[1]（かっこんとう）

感冒や鼻炎の急性期（悪寒／鼻づまり／膿性鼻汁／後鼻漏／頭痛・頭重）

③ 越婢加朮湯[28]（えっぴかじゆつとう）

眼症状（結膜充血／目のかゆみ／なみだ目／眼周囲の浮腫）／胃腸が丈夫／
のどが渇く／アレルギー性結膜炎

④ 辛夷清肺湯[104]（しんいせいはいとう）

鼻の熱感と疼痛（より炎症が強い場合）／鼻づまり／膿性鼻汁／後鼻漏

2 体質改善

体質改善薬と呼ばれる特定の漢方薬はない

ふだんから体調をよくする漢方薬を服用することが基本！

慢性炎症（蓄膿症など）が背景に存在するときには柴胡を含む処方をよく用いる

1) 柴胡を含む処方

①小柴胡湯[9] (しょうさいとう)

慢性炎症が背景にある場合の基本処方

対症療法に用いる処方と併用することが多い

②柴朴湯[96] (さいぼくとう)

息苦しさ／咽のつまり感／抑うつ気分／不安感／不眠

③柴胡桂枝湯[10] (さいけいとう)

上腹部痛（胃痛）／胃腸虚弱／ストレスによる諸症状

④補中益気湯[41] (ほちゅうえきとう)

疲れやすい／だるい／食後の眠気とだるさ／寝汗／胃下垂

2) その他の処方

①当帰芍薬散[23] (とうきしゃくさん)

手足の冷え／むくみ／月経痛

②六君子湯[43] (りっくんしとう)

食欲低下／胃もたれ／胃下垂